

広島パークビル／ストリートギャラリー作品入替のお知らせ

三菱地所株式会社中国支店は、広島パークビル「ストリートギャラリー」の設置作品の入替を実施いたしましたのでお知らせ致します。

同ギャラリーでは、行き交う人々への癒しと潤いの時間の提供、広島アートシーンの活性化を目指し、当ビル竣工時の1989年から4体のパブリックアートを展示し続けて参りました。

今回の作品テーマは弊社ブランドスローガンの「人を、想う力。街を、想う力。」。同テーマの下、広島で活躍中の若手作家4名が、アートと社会の新しい関係を考え、各人の想いを作品に表現しています。

各作品の写真ならびに作者よりのコメントは別紙の通りです。ご一読下さりますようお願い致します。

記

- |         |                   |             |
|---------|-------------------|-------------|
| 1. 作品名称 | ①「継承と創造の場」        | 作家：土井 満治 氏  |
| 制作作家    | ②「Familiar」       | 作家：楠 直明 氏   |
|         | ③「LOVE ♥ BEAM」    | 作家：藤江 竜太郎 氏 |
|         | ④「OKONOMI ISLAND」 | 作家：祐源 紘史 氏  |

※ 作品詳細については別紙をご覧ください。

2. 問い合わせ先 082-245-1242 (三菱地所 中国支店)

以上

【別紙：作品介绍（各作家コメント）】

○「継承と創造の場」



建築現場には欠かせない「足場」。それは様々な営みが入り交って進行する創造の現場であると思います。

2011年12月14日～2012年3月15日まで、原爆ドームには、全体を覆うように「足場」が組み立てられていました。これは保存修復のための現場ですが、同時に未来に歴史や遺産を継承していくための創造の現場とも言えると思います。

私の制作した足場にはまだ中身がありません。ここに何が建つのかを想像することで、私たちが広島という場所で何を創造していくのか、を考えることに繋がればと思います

土井 満治

○「Familiar」

私たちは都市に集い、学び、仕事をし、やがて家族とともに住まいを築く。そこに新たな未来、子供たちが生まれ、時が刻まれる中で子は育ち、森へ、あるいは海に遊ぶ。やがて若者は自分だけの自由を得るためオートバイに乗り旅立つだろう。しかし、何年か経って、ある日地平の向うに、いつか出発した街、母や父や友が住まう街が見えてくるはずだ。冒険の果てに地球が限りある世界であることを知った若者は、海も大地も川も森も、育ったあの街も、かけがえのないひとつの大きな円いファミリアであることを知るだろう。

楠 直明



○「LOVE ♡ BEAM」



太陽光を反射させ後部の建築部天井にハート形を映し出す作品です。

三菱地所の掲げる「人を、想う力。街を、想う力。」をテーマとし、建築物の天井に写るハートはここから発信する想う力（LOVE ♡ BEAM）の一端を視覚的に建築部分に映し出しました。

時間のうつろいと共に映し出されたハートは移動していきます。これはここから世界中すべてに向かって「LOVE ♡ BEAM」を発信し続けていること表現しています。時間、天候、季節の変化の中であなたへの「LOVE ♡ BEAM」を感じて頂きたいと願っています。

藤江 竜太郎

○OKONOMI ISLAND

多くの人たちが行き交う広島パークビルの前に、広島人のソウルフードであるお好み焼きが鎮座します。「なぜお好み焼き？」「このビルにお好み焼き屋があるの？」と疑問を持ってもらう事が狙いであり、鑑賞者への最初のアプローチです。よく見ると、山のような起伏があり島のジオラマのようです。そして極小の鳥居と島の外形から、お好み焼きが宮島を模したものと気付くでしょう。その瞬間、鑑賞者は瀬戸内海を見渡す鳥の視点となるのです。

祐源紘史

